

インバウンドコラム

2019年桜旅行実績

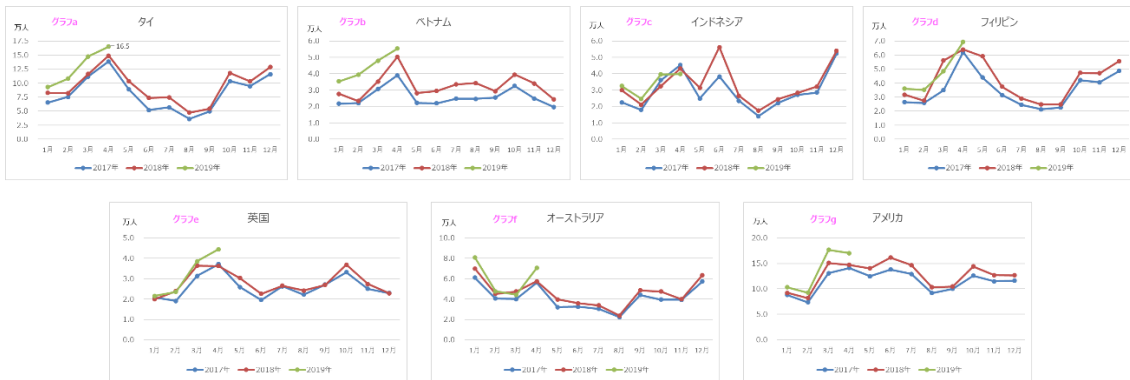
4月訪日の多い国 タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン 2019年は？

日本政府観光局(JNTO)が2019年4月の訪日外客数推計値を発表しました。4月の桜の季節に訪日人数が多いタイ、フィリピン、ベトナム、インドネシアの2019年4月の訪日人数実績を確認してみました。例年タイの訪日ピークは、タイのお正月ソンクラーン休暇がある4月です。2019年も前年を上回り、前年同月比10.9%増の164,800人で、単月として過去最高記録でした。(参照※1、グラフa)タイ国内でも、日本駐在員の多く滞在するバンコクの中心地、プロンポン駅前で、イオンが2019年4月26~28日桜まつりを盛大に開催していました。(参照※2)

ベトナムも、4月が例年訪日旅行ピークです。2019年は前年同月比9.9%増の55,300人で、単月として過去最高を記録しました。旧暦3月10日が「雄王(フンヴェン)記念日」という祝日で、2019年は4月14日(日)にあたり連休ではありませんでした。その他、4月30日(火)が南部解放記念日、5月1日(水)がメーデーと週半ばの2連休などの利用や、航空各社の需要ピークを見越した新規就航や増便、航空券割引セールスプロモーションが訪日人数を押し上げる的要因と考えられます。(参照※1、グラフb)

インドネシアは、2017年までは4月が訪日ピークでしたが、昨年からは、ラマダン明け大祭休暇の6月にピークが移っています。今年は4月3日(水)と4月19日(金)と2017年と同じく祝日がありましたが、訪日人数は前年同月比7.7%減の39,800人でした。要因は大統領選挙前で旅行需要が抑えられたためです。(参照※1、グラフc)インドネシアでは、選挙後も大規模なデモや暴動が発生しています。6月5日(水)のラマダン明け前後の大型連休までには落ち着き、訪日人数も戻ってきてくるといわれています。(参照※3)

フィリピンは、6月が学年始まりで4月から2ヶ月間が夏休みです。昨年は3月末だったイースター休暇も、2019年は4月18日(木)~4連休だったこともあり、訪日人数は前年同月比8.5%増の69,300人で、単月として過去最高を記録しました。(参照※1、グラフd)イースター休暇にフィリピンが伸びているので、それでは、同じくイースターを祝う米英豪はどうだろう？と調べてみたところ、英国、オーストラリアも4月に訪日人数が伸びています。(参照※1、グラフe、グラフf)アメリカは、例年3月に訪日人数がぐんと増えます。昨年はイースター休暇が3月末で、今年は2017年と同じく、4月だったので、3月を上回るかと思いましたが、前月比ではダウンしてしまいました。しかし、前年同月比では15.8%増の170,200人で、4月として過去最高を記録しました。(参照※1、グラフg)



※1 訪日外客数(2019年4月推計値)JNTO

https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/pdf/190521_monthly.pdf

※2 WiSE「イオン桜まつり」 | タイランドハイパーリンクス

<https://www.thaich.net/news/20190331ws.htm>

※3 インドネシア情勢 | South China Morning Post

<https://www.scmp.com/week-asia/politics/article/3011579/indonesias-election-riot-under-control-and-one-man-taking-credit>